



©NOMURA.hide

世界を相手に堂々プレー！

市内中学生が県代表選手としてサッカー世界大会に出場

5月上旬、福島県で14歳以下を対象としたサッカーの世界大会「2026 東京国際ユーススポーツ大会」が開催され、^{ふじおかりゅうせい}藤岡竜星さん（谷和原中学校2年）が茨城県の代表16人に選出され参加した「茨城トレセン」が第5位に入賞しました。藤岡さんは「茨城県の代表として海外選手や各都道府県の代表選手と真剣勝負ができ、本当に良い経験となりました。この経験を糧にさらに上を目指して、日々の練習に取り組みます」と今後の意気込みを語りました。

個性豊かな作品で来場者を魅了

コミュニティスペースみらいで市美術作家展が開催

5月7日～6月3日、コミュニティスペースみらい（伊奈庁舎敷地内）で「第4回つくばみらい市美術作家展」が開催されました。この展覧会は、本市の文化芸術の振興と発展に寄与することを目的に開催され、市内在住の美術作家28人の作品が展示されました。来場者は、ジャンルにとらわれない個性豊かな作品をじっくり鑑賞していました。なお、今年も12月1日（火）まで同会場で「アートのバトン」と題して、個展やグループ展を開催予定です。



この事業は「つくばみらい市市民活動支援補助金」を活用しています。



「アートのバトン」の日程はこちら



親子で楽しめるプログラムが満載！

みらい平どんぐり公園で子育て応援イベントを開催

5月15日、未就学児の子どもと保護者を対象に、親子の絆を深めることを目的としたイベント「芝生 DE 遊ぼう！」（協力：明治安田生命保険相互会社、いばらきコープ生活協同組合 ほか）をみらい平どんぐり公園で開催しました。当日はキッズスポーツやパラバルーン遊び、紙芝居の時間、昔遊びコーナー、ヨーヨー釣りなどが行われ、広い芝生で遊ぶ親子の微笑ましい光景が印象的でした。

おいしくなあれ！泥だらけの米づくり

ラグビー元日本代表を招いた米づくり体験を開催

5月16日、つくばみらい市市制施行20周年記念事業として、市内の田んぼで「米づくり体験」を開催しました。当日は、ラグビー元日本代表キャプテン^{ひろせとしあき}の廣瀬俊朗さんを招き、手作業での田植え体験のほか、廣瀬さんによる食とスポーツなどのトークイベントも行いました。ふるさと納税の体験型返礼品として参加した方々を含むおよそ100人の親子は、廣瀬さんと一緒に泥だらけになりながら、一生懸命に苗を植えました。初めて入る泥の感触に驚いたり、足を取られて尻もちをついたりするなど、田んぼのあちこちから笑い声が聞こえてくる楽しいイベントとなりました。



トークイベントで食とスポーツなどについて話す廣瀬さん（写真中央）

